

成城学園創立100周年・成城大学文学研究科創設  
50周年記念国際シンポジウム

# 映画と美術

成城大学・パリ第1大学・パリ第8大学のアートと映画の研究において

# が 出会うとき

第一級の研究者による国際シンポジウム

いかに映画はアートの定義に関係するのか。  
いかにアートは映画の展開に関係するのか。  
そして、映画とアートが連携するとき、いかに映画とアートの現在に新展望を切り開けるのか。

2017年

3月11日 10:00▶17:30  
成城大学3号館311教室

使用言語：仏語または英語、ただしすべての発表には日本語訳が映写されます。

## 第一部「アートから映画へ」(10:00-12:30)

- ①「アメリカの娯楽のヨーロッパの芸術に対する勝利／その包摂：『巴里のアメリカ人』(ヴィンセント・ミネリ、1951)の場合」  
木村建哉(成城大学准教授)
- ②「映画はアートと文学を基にして — エリック・ロメール『パリでランデブー』第一話から」  
小河原あや(成城大学講師)
- ③「ソフィ・カルの映像作品 — 自己の苦痛へのまなざし」  
松本良輔(成城大学文学研究科後期博士課程)
- ④「実写とアニメの狭間で — 佐藤雅晴のアンフラマン」  
北山研二(成城大学教授)

## 第二部「映画からアートへ」(14:00-16:30)

- ①「動きとスクリーンの出会い」  
フランソワ・スラージュ(パリ第8大学教授)
- ②「アニェス・ヴァルダの『アニェスの浜辺』の冒頭 — 自画像としてのインスタレーション」  
ジョゼ・ムール(パリ第1大学教授)
- ③「映画的なものの演出」  
ジャシント・ラジェイラ(パリ第1大学教授)
- ④「映画におけるアートのもの」  
— デヴィッド・フィンチャー『ベンジャミン・バトン 数奇な人生』を例にして  
ドミニク・シャトー(成城大学客員教授・パリ第1大学名誉教授)

## 第三部(16:40-17:30)

討論会

### 連絡先

文芸学部共用研究室  
☎03-3482-9412  
文学研究科  
✉bungei55@seijo.jp

### 背景の画像の出典

映画『アニェスの浜辺』より



SEIJO GAKUEN  
100th  
since 1917

